

オリンピック「平和の祭典」

今年は、56年振り日本でオリンピックが開催される。1953年生まれ私は、1964年の東京オリンピックは、鮮明に覚えている。「三種の神器」の一つであるテレビが我が家にきたのもオリンピック開催がきっかけだったし、女子バレーの「東洋の魔女」、柔道の「ヘーシンク」、男子水泳の「ドン・ショルダー」等日本の選手は勿論、トップアスリートに声援を送ったものだ。中でも君原、寺澤、そして円谷が出場した男子マラソンは、前回ローマ大会で裸足で走ったエチオピアの「アベベ・ビキラ」の快走と二位で国立競技場に入ってきた円谷幸吉そして三位で入ってきたイギリスの「ヒートリー」との激走は見事だった。その後円谷は、27歳で自らの命を絶つが、オリンピックという計り知れない重圧があったのも事実である。(詳細は、沢木耕太郎著「敗れざる者たち」参照)。筑紫哲也は、スポーツに何故感動を覚えるかという問いに「世の常などを見るためにスポーツなど要らない。日常の中にそんなものはいくらでもあるのだから、スポーツはそういう世の常をしばし忘れ去り、日常では見られない夢を見るためにあるのだ」と言っている。今年の夏いい夢を見たいが、一方では少し気になる事もある。



誘致に関して様々な金銭的な疑惑や安倍総理の東京電力福島第一原発について汚染水の処理の道筋が全く立っていないにもかかわらず「状況はコントロールされている」とした虚偽発言等「負」の側面も多い。また、私たちが小さい頃は、オリンピックは、「平和の祭典」という感覚があり応援するにしても表彰台の日本の選手は勿論他国の選手の雄姿に喝采をおくったものだ。2020東京オリンピックに関する新聞記事が多くなったにもかかわらず「平和の祭典」という文字をほとんど目にしない。

今世界は、イランとアメリカの軋轢、ブレグジットによる「EUの挫折」等地政学的不安定要素が高まり、「2020年は、過去10年に比べてどの年よりも、世界は危なくなった」(「米外交問題評議会」)と言われている。これらの危機の根本的問題は、世界の富の82%を1%の富裕層が占めているという世界中での格差の拡大が指摘されている。

2020東京オリンピックを停滞している我が国の景気浮揚策に位置付ける安倍政権の目途は見えて透いているが、準備から終了するまでオリンピック・パラリンピックが「平和の祭典となっているか」という視点でみていく事も大切ではないだろうか。



前回の市政報告の主張「(性的少数者) 発言をめぐって」の中で「自民みらい」とするべきところを「自民・みらい」としていただいたのでお詫びして訂正いたします。

市政報告

2020年
2月
議会号

〒892-8677
鹿児島市山下町11-1
鹿児島市議会社民・市民フォーラム控室
電話:099-216-1438
FAX:099-226-1019

2019年 第4回市議会定例会 報告

一般会計補正予算約40億2,934万円、主な内訳は、約29億円が市債管理基金への積立や補助内示見込みによる、介護老人福祉施設等の整備に対する補助金などとなっています。

また、2020年4月に供用開始予定の国際交流センター、鹿児島アリーナ、レインボー桜島等の指定管理者の指定、条例関係では、2020年11月供用開始予定のかごしま健康の森公園に建設中のパークゴルフ場の利用時間や使用料を定めた、鹿児島市公園条例の一部改正が行われました。以下、主な内容をお知らせします。



市立病院における労働基準監督署の是正勧告について

今回の調査内容、是正勧告・指導内容は、勤務時間管理や、時間外勤務などを対象とし、36協定を超えて時間外勤務をさせていたことや、医師については、タイムカードなどで、勤務時間を把握していないこと、また、看護職員については、出退勤時刻と時間外勤務時間との間に相違が生じていることなどについて指摘されたものです。対応として、医師については、36協定を勤務実態に合わせて見直し、出退勤記録入力徹底などを指導し、また、看護職員については、12月中に、407人に対し、約1,800万円の時間外勤務手当を追加支給しました。市立病院は、2015年と16年にも、勧告を受け、その都度、私たちも議会の中で厳しく追求してきたことから今回、このような事態になったことは遺憾であり、4度目は絶対にありえないと厳しく指摘しました。



東京2020オリンピック聖火リレー実施事業について

東京2020組織委員会が主催する聖火リレーの鹿児島市における走行について、東京2020オリンピック聖火リレー鹿児島県実行委員会と連携し実施いたします。日程は、令和2年4月28日と29日、28日は、志布志市をスタートし鹿児島市まで、同日、ウォーターフロントパークにて聖火をランタンに格納するセレブレーションが予定されています。

今回の補正で、本市としては114万円を交通規制のチラシやのぼり旗の作成に支出し、市民の方々へ周知や機運の醸成を図る事となっています。

森山きよみ

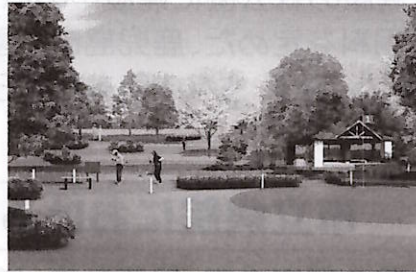
活動・議会報告



パークゴルフ場の利用料など決まる

現在令和2年11月の供用開始を目指して、かごしま健康の森公園に建設中のパークゴルフ場を有料公園施設として、その使用料を定める、鹿児島市公園条例の一部改正が行われました。

同条例に、パークゴルフ場を加え、利用時間は午前8時半から午後6時まで(4～9月)、10～3月は午前8時半から午後5時まで、利用料は、一般1人1日600円、児童生徒は300円となりました。



森市長へ令和2年度予算編成に対する申し入れを行いました

12月9日、社民・市民フォーラム鹿児島市議団は、森市長に対して令和2年度予算編成に対する申し入れを行いました。緊急性や特に重要とされる項目を含め、全206項目を要望としてまとめ市長に手渡しました。依然、厳しい財政状況ではあるが、市民が主役の鹿児島市を目指し、十分検討して配慮いただくよう強く要請しました。

身近な市民相談は

社民・市民フォーラム市議団へ

電話：099-216-1438

- 森山 きよみ (6期 花野)
副議長
産業観光企業委員会 所属
- 団員 秋広 正健
- 団員 ふじくぼ 博文
- 団員 大森 忍
- 団員 中原 力
- 団員 平山 タカヒサ
- 控室 吉田 詠弓



鹿児島市国際交流センター 四月オープン

旧鹿児島市立病院の駐車場跡地に建設された「鹿児島市国際交流センター」(8階建て 研修室、交流ラウンジなど)については、本年四月から供用開始されることから管理運営をする事業者を指定する議案が提案され指定管理者として指定する者として「鹿児島市国際交流財団」が指定されました。

今後、本市へも様々な目的をもって多くの国から多くの方々がこられることが予想されることから「国際交流センター」の役割が重要になってきます。

本年四月以降、市民の皆様も一度見学に行かれてはいかがでしょうか。



地域子育て支援センター事業の再配置計画先送り

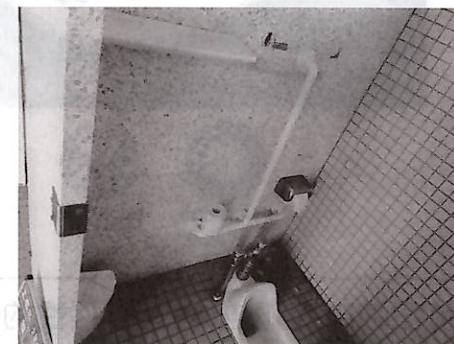
地域の保育所の協力を得て、育児不安などに対する相談・指導及び地域の子育てサークルなどの育成・支援などを図るために実施されている「地域子育て支援サークル事業」については、今年の四月から現在実施している事業所を再編して新たにスタートする予定でしたが、現在利用している子育て中のお母さんたちから場所が遠くなることや何よりも保育士さんとの相談しやすい関係が白紙に戻るなどへの不安があることから見直しの要望が多く寄せられていました。森山きよみも当局へ働きかけながら見直しを求めてきました。

その結果、市当局もお母さんたちの声を受け止め、「再度課題を整理する必要がある」とし、本年四月からの新たな再配置計画については、先送りすることにしました。

この問題について、市は、「再配置の方針は変わらない」としていることから今後も市の動向を注目していく必要があります。

千年団地中央公園のトイレの改修終わる

懸案になっていた千年団地中央公園のトイレの改修が終わりました。グランドゴルフをする時や地域の行事等で公園を利用される地域の方々から和式のトイレから洋式トイレへの要望が寄せられ、市当局と協議をし改修されました。



■ 施工前



■ 施工後